

# 環境整備と電気柵によるクマ対策

上田市（旧丸子）荻窪地区の取組

上小地区野生鳥獣対策チーム

被害を受けていたブドウ畑




耕作地と森林の  
境の防護柵







A photograph showing a damaged agricultural structure. The structure consists of a green plastic net supported by wooden posts, and a lower section made of corrugated metal sheets. The net is sagging and has a large hole in the center. The metal sheets are also damaged and bent. In the foreground, there are green plants and grass. The background shows a field with yellow flowers and a fence.

クマはトタン柵を  
破って侵入





平成20年9月17日  
研修会（電気柵の架設実習）





クマの侵入路沿いの  
灌木を刈り払い、  
電気柵を設置





古トタンや廃材を  
撤去、藪を刈り  
払って柵を設置





パワーユニット  
はGLLAGHERの  
B 1 1 が 1 台

柵の延長は230mの  
3段で690m  
明らかにパワー不足

# 対策地のイメージ

山は  
野生動物の  
すみか

おいしいごち  
そうがある。


獣の隠れ家や通り  
道になっている  
灌木

集落から1段高  
い耕作地

防護柵

集落側の水田





これほど電気柵の効果が高いとは思いませんでした。

今年はブドウの収穫まで安心して  
稲刈りができました。

周囲の環境を変え、クマの行動を抑制したこととの相乗効果だと考えられます。

# 今回の成果と反省点

- 地域で信頼されていなかった電気柵の効果を実感していただくことができた。(ただし電気柵の能力不足によって、突破された可能性もある。)
- 事前の準備期間がなく、参加者が少数だった。
- 地域に適切なアドバイスをしてくださる方がいた。(地域の理解)